

# 第496回基礎科学セミナー

日時：12月27日（木） 13:30～15:00

場所：先端基礎研究交流棟3階 第2会議室

講演者：筒井 智嗣 氏

(高輝度光科学研究センター 副主幹研究員)

演題：ウラン化合物のメスバウアー分光

**Mössbauer spectroscopy on uranium compounds**

メスバウアー分光は、強相関電子系の物性研究に広く用いられているNMRやNQRと同じく、電子と原子核の間の超微細相互作用から微視的な立場で物性を議論する手法の一つである。NMRやNQRと大きく異なる点はメスバウアー分光が原子核の励起状態から基底状態への遷移を利用して超微細相互作用を調べる点であり、このことがNMRやNQRが困難な原子核の基底状態の核スピンのゼロであるウラン核でもメスバウアー分光が可能な理由の一つである。講演では、これまでに行なわれてきたウラン核のメスバウアー分光を用いた物性研究について紹介し、今後の研究進展の可能性について議論したい。

<問い合わせ先>

先端基礎研究センター 重元素系固体物理研究Gr.

徳永 陽 (81-3525)